

観世流

白石能

〜鞍馬山伝説〜



狂言

鞍馬参り

野村萬斎

能

鞍馬天狗

小島英明

白頭

《主催》観世流能楽を楽しむ会 《協力》(公社)観世九阜会・阜風会 【能『鞍馬天狗』小島英明(写真:駒井壮介)】

《後援》白石市・白石市教育委員会・白石市文化協会・(公財)白石市文化体育振興財団・白石商工会議所

■見どころ解説

■仕舞 橋辨慶

小島 英明
 小島 英明
 小島 伊織
 地謡 遠藤 喜久
 佐久間二郎
 中森健之介
 奥川 恒成

■狂言 鞍馬参り

シテ (太郎冠者) 野村 萬斎
 アド (主) 野村 裕基
 後見 内藤 連

～休憩 15分～

(午後 3 時 20 分頃)

■能 鞍馬天狗 白頭

シテ (山伏/鞍馬ノ大天狗) 小島 英明
 子方 (沙那王) 小島 史織
 子方 (花見稚児) 白石市子ども
 能楽教室参加者
 ワキ (東谷ノ僧) 野口 琢弘
 ワキツレ (従僧) 小林 克都
 アイ (能力) 内藤 連
 アイ (木葉天狗) 金澤 桂舟
 笛 平野 史夏
 小鼓 清水 和音
 大鼓 柿原 孝則
 太鼓 林 雄一郎
 地謡 中森 貫太
 佐久間二郎
 坂 真太郎
 中森健之介
 石井 寛人
 金子仁智翔
 後見 遠藤 喜久
 奥川 恒成

※終演予定時間 午後 4 時半頃



小島英明



野村萬斎

◎本公演に先立ち、特別講座を開催致します。

【ふれあい能楽セミナーin 碧水園】

能『鞍馬天狗』の世界

※能の基礎知識から、能『鞍馬天狗』について詳しく解説します。

日時：令和 8 年 5 月 24 日(日)午後 1 時～2 時半

会場：碧水園能楽堂

講師：観世流能楽師 小島英明

※入場無料・オリジナルテキスト付。

狂言 鞍馬参り くらままいり

正月初めての「寅の日」に毘沙門天に参詣する「初寅(はつとら)」の日、主人(アド)のお供で鞍馬参りに出かけた太郎冠者(シテ)は、お堂にこもってまどろむうちに、老僧姿で現れた多聞天(毘沙門天)から「福有(ふくあり)の実(梨)」を賜るといふ霊夢をみる。話を聞きうらやましくなった主人は、自分にその福を渡すように太郎冠者に命ずる。せっかく授かった福をたやすく渡したくない太郎冠者は…。

能 鞍馬天狗 白頭 くらまてんぐ はくとう

春爛漫の鞍馬山。西谷の能力(アイ)より花見への招きの文を受けた東谷の僧(ワキ)が、大勢の稚児(花見稚児)を伴い、西谷の桜見物に出かける。そこへ見慣れぬ山伏(前シテ)が来て、どっかりと座り込む。興奮した一行は帰ってしまうが、ただ一人残る稚児がいた。これこそ、後の源義経・沙那王(しゃなおう=牛若丸、子方)であった。沙那王は山伏に声をかけ、一緒に花見をしようと誘う。そして、平家一門の稚児達に囲まれている我が身の孤独を嘆く。その境遇に同情し心惹かれた山伏は、花の名所を案内してまわる。沙那王が名を尋ねると、山伏はこの山に住む大天狗であると名乗り、平家を滅ぼすべく兵法を授けようと語ると明日の再会を約して飛び去る。【中入】翌日、長刀を手にした沙那王の前に、全国の名だたる天狗達を引き連れ、大天狗(後シテ)が現れる。大天狗は、漢の高祖の臣下・張良の故事を引き、師匠に教えを仰ぐ者の心得を語って聞かせ、続いて兵法の奥義を授ける。そして、この後は沙那王の影となって御身を離れず武運長久の守護を誓うと、名残を惜しみつつ鞍馬山へ姿を消すのであった。

日時：令和 8 年 6 月 13 日(土)午後 2 時始 (1 時開場)

会場：碧水園能楽堂 (宮城県白石市南町 2-1-13)

【チケット】 正面席：6500 円 / 正面補助席：6000 円
 脇正面席：6000 円 / 脇正面補助席：5500 円
 中正面席：5500 円 / 中正面補助席：5000 円
 学生券：3500 円 (中正面エリア)

【発売日】 4 月 25 日(土)9:00～ 特別先行発売日(碧水園)
 (1 日のみ)限定枚数/先着順(電話受付予約不可)

4 月 26 日(日)10:00～ 一般発売日

【申込み】 コンフェティチケットセンター
 TEL：050-3092-0051
 (平日 10:00～17:00)

※予約後、セブンイレブンで発券



【問合せ】 碧水園内・観世流能楽を楽しむ会事務局
 TEL / FAX：0224-25-7949



公演当日、碧水園内お茶室にて「菅原夢玄師 能面展」を開催致します。ぜひお運びください。(入場無料)